

Panasonic
i-PRO ネットワークカメラ WV-SPN311/SPN310V
V4.80 版 リリースノート

目次

[変更履歴](#)
[ダウンロードファイルについて](#)

変更履歴

Ver V4.80ES

<改善項目>

- セキュリティ強化を実施
- 解像度変更、撮像モード変更を繰り返し実施すると、稀に黒画になることがある現象の改善

Ver V4.70ES

<機能追加>

- 生産工場でプリインストールされる電子証明書を「DigiCert 社」から「Global Sign 社」へ変更。本バージョンアップのみでは変更されません。セキュア通信を実施されている場合の影響などの詳細については、[こちら](#)を参照ください。

<改善項目>

- HTTP アラーム通知機能の以下の内容の改善
 - ・Digest 認証対応
ID/PW 無しで初回アクセスし、サーバーからの応答を元に Digest/Basic のいずれかで認証する。
 - ・サーバーとのユーザー認証失敗時のシステムログ追加
認証エラー時、「<HTTP アラーム通知> 認証エラー」のシステムログを表示する。
 - ・HTTPS での送信機能
通知先に、“https://”を設定した場合、HTTPS のサーバーと判断し HTTPS でのアクセスを実施する。
- 接続方法を HTTP から HTTPS への変更する際、1 クライアントあたりのビットレートが 4096kbps を超えて設定されていた場合に、HTTPS 通信における総配信量 16Mbps 制限を考慮して自動的に 4096kbps へ変更する動作から、ビットレート設定を変えずに運用環境に応じたストリーム配信ができるよう改善。併せて、接続方法の設定画面に HTTPS 接続の総配信量 16Mbps 制限に関する注記を追加。(2021/10 記載内容一部修正)

Ver V4.30ES

(V4.00より古いバージョンからのバージョンアップには、V4.00を経由した2段階のアップデートが必要です。詳細は[こちら](#))

<改善項目>

- ライブ画表示の際に、稀に画像が黒くなってしまうことがある現象の改善
- Windows10 における、HTTPS 接続における再接続時の応答改善
- 表示用プラグインソフトウェア (ActiveX) 内に記載されている旧社名を新社名に変更

Ver V4.10ES

(本バージョンへのバージョンアップには、V4.00を経由した2段階のアップデートが必要です。詳細は[こちら](#))

<改善項目>

- 音声がかえなくなることがある現象の改善
- セキュリティ強化を実施
- アラーム独自通知機能に「検知エリアNo」と「検知条件」を以下の項目に追加
 - ・方向検知アラーム
 - ・置き去り/持ち去り検知アラーム
 - ・ラインクロス検知アラーム
- DDNS設定画面の「ダイナミックDNS Update (DHCP連携なし)」「ダイナミックDNS Update (DHCP連携)」に注記文言を記載
- バージョンアップ画面に オープンソースソフトウェア(OSS)のライセンスを表示
- SDメモリーカードの上書き録画中にログリストを開き、参照するとファイルが見つからないことがある現象の改善

Ver V4.00ES

<改善項目>

- FTP定期送信エラー時の保存先が変更できない現象の改善
- 「ネットワーク」設定の「HTTPの最大セグメントサイズ」の設定で以下の機能を連動するように改善
 - ・HTTPアラーム
 - ・みえますねっと(アクセステスト)
 - ・みえますねっと(通知)
- セキュリティ対策の強化を実施
- 録画データをログリストからダウンロードする際に、当該時刻の1つ前のログの録画データがダウンロードされることがある現象の改善
- SDカードへのJPEG上書き録画中に削除不可能なファイルができた際に、カメラ再起動してしまうことがある現象の改善
- ログリスト画面でのSDカードデータ削除時、再生画面を表示中に削除できないデータが残ることがある現象の改善
- ネットワークディスクレコーダーNXシリーズとの接続時、稀に通信エラーが発生する現象の改善
- overRTSP接続でネットワークが切断された後、2分以内に配信方式(~~H.265/H.265~~) (H.264/H.265) の設定変更、解像度の変更を実施すると、変更完了前のストリームが配信されてしまうことがある現象の改善
(記載誤りのため修正 2023/6/8)
- ネットワークディスクレコーダでシーケンス運用時、映像を出力するまでに時間がかかり、黒画になってしまうことがある現象の改善
- ネットワークディスクレコーダーもしくは映像監視ソフトウェア(WV-ASM300など)をシーケンス動作させた場合にカメラが再起動することがある現象の改善
- ネットワークディスクレコーダでSDメモリーバックアップされたデータをダウンロードすると、カメラが再起動することがある現象の改善
- セキュリティ強化に伴い、設定データの暗号化方式を変更*
※Ver4.00以降でバックアップした設定データを、Ver4.00より前のバージョンで動作するカメラにリストアすることはできません。

Ver V2.70ES

<改善項目>

- 映像配信(JPEG)を1年以上連続運用していた場合に、フレームレートが低下する可能性がある現象の改善

Ver V2.60ES

<改善項目>

- 工場出荷状態の初期のパスワード認証方式を「Digest or Basic」から「Digest」に変更
- 工場出荷状態の初期のパスワードの使用文字種を「英字/数字/記号」のうち2種以上を選択する仕様から「英字大文字/英字小文字/数字/記号」のうち3種以上を選択する仕様に変更
(変更に関するお知らせは[こちら](#))
- ホスト認証にユーザー認証機能を追加
- システムログにログイン失敗した履歴を表示
- 設定データを暗号化して保存するように変更

- ※ファームウェアを以前のバージョンに戻した場合、設定データがリストアできなくなりますのでご注意ください。
- その他セキュリティ対策を強化(2018/10/22 記載内容一部変更)
- プラグインソフトウェアに、[描画方式]、[デコード方式]、[ライブ画フレームスキップ表示(PC 高負荷時)]を追加
- 配信量制御(ビットレート)の初期値を以下に変更
変更前:制限なし
変更後:51200kbps

Ver V2.58ES

<改善項目>

- セキュリティ強化を実施
- 独自アラーム通知のアラーム種別に以下を追加(SPN311 のみ対象)
 - ・SD カード Write エラー
 - ・SD カード Read エラー
 - ・SD カード ファイル削除エラー
 - ・SD カード ファイルシステムエラー
 - ・SD カード その他エラー
- 配信方式で「マルチキャスト」選択時、RTSP 配信はユニキャストのみだったが、その制約を廃止
- みえますねっとポータル画面のライブ画像が、「Google Chrome 64.0 for Windows」で表示できなくなる現象の改善(2018/3/26 一部表現を変更)
- 管理者パスワードが削除されることがある現象の改善

Ver V2.56ES

<改善項目>

- ActiveX 内の旧社名を新社名に変更
- 画面内のサポートウェブサイトの URL を変更

Ver V2.54ES

<改善項目>

- H.264 の配信モードを変更すると、意図せずリフレッシュ間隔が 8 秒に変更されることがある現象の改善
- NTP サーバーとの時刻補正において、5 秒以内のずれでは補正されないことがある現象の改善
- ネットワークディスクレコーダ WJ-NX400 の RTSP モード配信時に、連続運用中に配信が停止することがある現象の改善(2017 年 5 月 記載漏れのため追記)

Ver V2.52ES

<改善項目>

- セキュリティ強化を実施

Ver V2.50ES

<機能追加>

- [配信量制御(ビットレート)]の選択に以下の内容を追加
10240 kbps/15360 kbps/20480 kbps/25600 kbps/30720 kbps/35840 kbps/40960 kbps/51200 kbps
- [スマートコーディングモード]に[On(Mid)]、[On(High)]を追加
- 撮像モードに「2メガピクセル[16:9](30fps モード)」を追加
※但し、本モード選択時には「1280×720」の解像度は選択できません

<改善項目>

- 画面内のサポートウェブサイトの URL を変更
- NTP の仕様を一部改善(ご使用については影響ございません)
- 設定画面のテキスト文字入力欄に「</script>」を入力すると、レイアウトが崩れることがある現象の改善
- 「配信量制御」を「1 クライアントあたりのビットレート」以下に設定しようとする、設定確認のアラート画面が表示される仕様だが、H.264(2)~H.264(4)の「1 クライアントあたりのビットレート」のチェック処理が抜けていた点を修正
- スマートコーディングの設定を On にし、H.264 ストリームを、SD 録画のストリームに設定すると、スマートコーディングが強制的に Off になり、リフレッシュ間隔の設定が本来 1s に戻るべきだが、内部的にリフレッシュ間隔が 8s のままとなる。その結果 SD 録画した H.264 が異常データとなることがある現象の改善
- H.264 ストリームの接続/切断を繰り返すと、カメラが再起動することがある現象の改善

Ver V2.43ES

<改善項目>

- Ver.2.00 以降へ Ver.1.71 以前の設定値をリストアできないことがある現象の改善

Ver V2.41ES

<改善項目>

- 稀に起動に時間がかかることがある現象の改善

Ver V2.40ES

<改善項目>

- ユーザー認証の初期値を「Off」から「On」に変更
- ユーザー名、パスワードの初期値「admin」「12345」を削除し、入力条件を「4~32 文字」から「8~32 文字(英数字の混在必須)」に変更
 ※すでに設定済の機器をバージョンアップしても従来のユーザー名、パスワードは削除されません。設定画面や初期化ボタンで初期化すると改めて設定が必要になりますのでご注意ください。
- 機能拡張ソフトの「顔ベストショット」機能使用時に、バッファに本来除去されるはずのノイズが蓄積され「顔ベストショット」が送信されなくなる(顔照合システムで失報が発生する)と同時にメタデータが送信され続けることがある現象の改善(2016/6/10 記載漏れのため追記)

Ver V2.02ES

<機能追加>

- [みえますねっと PRO]を統合後の新「みえますねっと」に対応
 ※2016 年 2 月の「みえますねっと」サービスリニューアルに伴い、「みえますねっと Pro」ご利用のお客様は、サービス終了する 2016 年 6 月 30 日まで、そのままバージョンアップすると DDNS サービスが停止しますのでご注意ください。

<改善項目>

- VMD画面、音検知画面表示中は、アラーム通知が行われないことを、それぞれの画面へ説明文追加

Ver V2.00ES

(本バージョンへのバージョンアップには、中間ファームウェア V9.99 による 2 段階のバージョンアップが必要です。詳細は[こちら](#))

V2.00 以降のバージョンでバックアップした設定データを V2.00 より古いバージョンにリストアすることはできません。あらかじめ、リストアするカメラのファームウェアを V2.00 以降にバージョンアップしてリストアしてください。(2016 年 10 月 記載漏れ追記)

<機能追加>

- [スマートコーディングモード]機能を追加
- ファームウェアのセキュリティ対応

- 設定画面の Safari/Firefox/Google Chrome 条件付対応。検証バージョンは以下です。
 - ・Safari:v5.34.57
 - ・Google Chrome:v44.0.2403
 - ・Firefox:v39.0.0
 制限事項については[こちら](#)を参照ください。

<改善項目>

- 機能拡張ソフトの iVMD 機能の設定の上限値を変更
 - [変更前] 100%,150%,200%,250%,300%
 - [変更後] 100%,150%,200%,250%,300%,350%,400%,450%,500%,制限なし
- ユーザー設定画面でユーザー管理画面、メンテナンス画面の画面レイアウトが崩れることがある現象の改善

Ver V1.87E

<機能追加>

- ビジネスインテリジェント拡張キット WJ-NVF30JW に対応

<改善項目>

- WJ-ND400K と連携した JPEG の SD バックアップ機能において、記録の切り替わりタイミング(SD カードへの保存終了タイミング)で画像が抜けることがある現象を改善 (SPN310V を除く)
- 画質改善を実施
 1. 解像感改善
 2. S/N を改善
 3. H.264 の画質改善
- 時刻補正方式を、手動→NTP に切り替えたあとに「タイムゾーン」を設定すると、同期時にタイムゾーンが正しく反映されないことがある現象の改善
- 白黒映像状態でオートフォーカスを実施し、その後、設定データをバックアップすると、リストアできない現象を改善
- ライブ画面内文字に「ガ」「パ」などの濁点・半濁点を含むカナ文字を 8 文字以上入力すると、エラー(500 エラー、もしくは、403 エラー)になることがある現象の改善
- 稀に画像がハンチング(画像全体が明暗を繰り返す)を起こすことがある現象の改善

Ver V1.85E

<改善項目>

- 稀に再起動することがある現象の改善

Ver V1.84E

<改善項目>

- SD メモリーカードの異常発生時にカメラがエラー応答をしないため、録画サーバーシステム「ArgosView」が JPEG のバックアップ録画機能使用時に異常から復帰できなくなるがある現象の改善
※SD メモリーカード異常時に、エラー応答をするように改善しました (SPN310V は除く)

Ver V1.83E

<改善項目>

- 最大ファイルサイズ 20MB 設定で SD メモリーカードへ録画した H.264 録画ファイルを PC ソフトウェアパッケージ WV-ASM200 からダウンロードする機能に対応。(WV-ASM200 の V3.30 以降へのバージョンアップも必要です) (SPN310V は除く)
- 映像配信停止が発生した場合に、再起動させることで停止の状態を復旧させる改善を実施
- CSV ファイルのダウンロード中に PC 側 LAN ケーブルを抜き差しすると、HTTP アクセスを受け付けなくなるがある現象を改善 (SPN310V は除く)
- VMD 検出精度の改善 (VMD 感度を調整されているご使用環境では、VMD 検出数が増える場合がありますのであらかじめ)

めご了承ください(2015/5/14 記載漏れ追記)

Ver V1.82E

<改善項目>

- V1.71 以前でバックアップしたカメラの設定値を V1.80 にリストアすると再起動することがある現象の改善

Ver V1.80E

<機能追加>

- SD カードの運用情報/エラー情報を設定画面に表示(※SD カードの品番は、SD カード内のメモリの保存された品番を表示します。
※稼働時間は、リアルタイムに更新されません。1 時間に 1 回更新されます。)(SPN310V を除く)
- SD メモリーカードの警告出力をアラーム端子から出力する機能を追加 (SPN310V を除く)
- アラーム端子入力(端子 1)による時刻補正機能に対応 (SPN310V を除く)
- 「音声圧縮方式」に「AAC-LC(高音質)」を追加
- SD カード記録時の JPEG 画像の拡張領域へ付加情報を重畳するように仕様変更 (SPN310V を除く)
- SD カード記録時の MP4 ファイルに付加情報を重畳するように変更 (SPN310V を除く)
- Safari/Firefox/Google Chrome での H.264/JPEG 表示に対応([制限事項についての詳細はこちら](#))
- 「バージョンアップ」タブ内に、機能拡張ソフトウェアのインストール画面へのリンクを追加

<改善項目>

- Internet Explorer 互換性表示 OFF 時の画面表示を改善
- H.264 の配信モードを「アドバンスド可変ビットレート」設定時、ストリーム配信における画質が徐々によくなる点を初めからよい画質で配信できるように改善
- ASF900 における顔ベストショットの顔照合機能のための画像選別処理の改善
- iVMD(WV-SAE200)インストール済み、かつ、動作検知アラーム種別が VMD の場合、ライブ画のアラームアイコン表示が iVMD 時の表示となってしまうことがある現象の改善
- ライブ画の日付、時刻表示が一部乱れて表示することがある現象の改善
- 音声圧縮方式を「AAC-LC」に設定した後、音検知設定画面に遷移すると、『「ユニキャストポート番号 2(音声)」に指定した番号は使用中です。ポート番号を変更してください。』という誤ったアラート表示が出る現象の改善
- 他品番のカメラでフォーマットした SD カードをライトプロテクト状態で挿入した場合にメンテナンス画面-システムログタブが数分間開けなくなることがある現象を改善 (SPN310V を除く)
- 機能拡張ソフトウェア「SAEASF(顔ベストショットアプリ)」をインストールし有効化すると、iVMD 設定が有効になる現象の改善

Ver V1.71E

<機能追加>

- [AGC(音声)]設定を追加
- [日時&画面内文字]の表示設定の拡張
- [コントラスト強調表示(RGB:0-255)]機能を追加
- JPEG の 1shot 取得時、JPEG の拡張領域に iVMD 情報を重畳するように仕様変更
- SD カード録画時の JPEG の拡張領域への iVMD 情報を重畳するように仕様変更[NDR バックアップ(ND200, ND300, ND400K)、FTP 定期失敗時のみ](SPN310V を除く)
- 画像の付加情報に端子アラーム検知状態を追加(※H.264/JPEG 共通)(SPN310V を除く)
- [プライバシーゾーン]の[表示形式]機能(モザイク表示)を追加
- SD 録画状態、音声情報の付加情報に対応 (SPN310V を除く)

<改善項目>

- プラグインソフトの改善
 - ・描画遅延が蓄積しないように改善
 - ・スクロール時の画崩れ改善

・上記の改善に伴い、プラグインソフトウェアの容量が増加。(約 2MB→約 3.8MB)

- iVMD の検出精度改善
- 配信モードが可変ビットレート設定時の H.264 の画質を改善
- タイムゾーンを 2014 年 10 月の状態に更新
- カメラの負荷が高い状態の場合、PC からカメラへの音声送信(送話)を実施すると、エラーとなることがある現象を改善。(カメラから PC への音声受信(受話)を実施している場合、受話が聞こえなくなります。)(SPN310V を除く)
- H.264 の録画再生画面にて、スライドバーをドラッグし、全く移動させずにドロップ(離す)とブラウザ(Internet Explorer)が応答しなくなる現象を改善(SPN310V を除く)
- H.264 を RTSP 制御で配信している際、RTSP のポート番号を変更すると、以降 RTSP 制御で H.264 を配信できなくなる現象の改善
- PC からカメラへの音声送信(送話)の開始/停止を数多く実施すると、H.264/音声の配信ができなくなる現象の改善(SPN310V を除く)

Ver V1.59E

<改善項目>

- WV-ASM200/ASM20 との接続性の改善

Ver V1.58E

<改善項目>

- 生産工場での工程検査改善(お客様への操作、設定に関する影響はございません)
- overRTSP でのストリーム配信時に、設定変更による配信の接続・切断を繰り返すと、配信が停止したり、以降配信開始できなくなる現象の改善(2015/2/2 記載漏れ追記)
- RTSP で接続中にレコーダなどの接続機器を再起動させて、ストリームの切断/接続を繰り返すと、映像配信ができなくなる現象の改善(2015/2/2 記載漏れ追記)
- overRTSP で映像配信している際、3 クライアント以上が接続断(ケーブル抜け状態など)になると、約 5 分後にカメラが再起動することがある現象の改善(2015/2/2 記載漏れ追記)
-

Ver V1.55E

- 初版

ダウンロードファイルについて

spn311_***E.zip、spn311_***ES.zip は WV-SPN311/SPN310V のファームウェアです。
ダウンロード後、ファイルをダブルクリックし解凍(拡張子 bin または img に)してバージョンアップにご利用ください。

※バージョンアップの手順は、各機種の取扱説明書を、ご参照ください。